

令和4年度（第39期）

# 事業報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

公益財団法人 仁泉会



<b>I 概況</b>	3
<b>II 運営施設の事業報告</b>	
1 北福島医療センター	6
2 保原中央クリニック	14
3 梁川病院	16
4 プライムケア桃花林	18
5 ほばら訪問看護ステーション・ヘルパーステーション・居宅介護支援事業所	20
6 あぶくま訪問看護ステーション・ヘルパーステーション・居宅介護支援事業所	22
7 あぶくま訪問看護ステーション	24
8 あぶくまヘルパーステーション	25
9 保原指定居宅介護支援事業所	26
10 あぶくまケアプランステーション	27
11 伊達市保原地域包括支援センター	28
<b>III 参考資料</b>	
1 法人概要	30
2 沿革	31
3 組織図	33
4 評議員・役員・会計監査人の状況	34
5 職員の状況	35



# 令和4年度公益財団法人仁泉会事業報告

## I 概況

令和4年度は、引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応に取り組み、自治体や医療機関からの様々な要請に応え、職員一丸となって地域の中核病院としての役割を担いました。オミクロン株の伝播性の高さから、職員の感染や濃厚接触により、多くの出勤停止が生じ、また法人内事業所においてもクラスターの発生から様々な面で制限せざるを得ない厳しい運営を強いられる時期もありました。しかし、そのような状況下においても、福島医大・寄附講座「総合内科・臨床感染学講座」の医師を中心として、感染予防対策等、迅速な意思決定や機能の維持に努めました。

制度上、令和5年度末で廃止となる梁川病院（介護療養型医療施設）については、病床を北福島医療センターに統合することを想定し、令和5年1月末までに医療療養病床への転換を進めることが出来ました。今後も、北福島医療センターや法人内事業所において、これまで同様の機能を維持し、高齢化が進む地域の医療機関として急性期から慢性期を担い、より質の高い医療とサービスの提供体制を構築してまいります。

北福島医療センター新築移転工事計画については、将来長きにわたり地域医療を担う上での基礎となる事業と位置づけ、8月の臨時理事会において設計会社選定が決議された後、新病院開設準備室を中心として基本設計の確実な実行に取り組みました。感染症や災害に対応できる安心安全な医療機関の実現に向け、引き続き検討を重ね具現化を図ります。

財務面では、新型コロナウイルス感染症の拡大や、令和4年3月に発生した福島県沖地震の影響により、入院患者や通所リハビリテーションの受入制限を行ったことで事業収益は減少しました。しかし、諸費用の削減に努めたことや新型コロナウイルス感染症関連の補助金の確保により、当期一般正味財産増減額は前年同期比増加しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけに生じた受診控えや人口減少など、法人を取り巻く厳しい状況においても「地域住民の健康保持並びに社会福祉の向上に貢献する」という当法人の目標の達成に向け、今後も事業計画に基づいた地域における保健、医療、福祉の向上に寄与してまいります。

### 1. 理事会の開催

①期 日	令和4年6月21日（火）	書面決議
議案	決議事項	第1号議案 令和3年度（第38期）事業報告について
		第2号議案 令和3年度（第38期）決算報告について
		第3号議案 理事の改選について
		第4号議案 監事の推薦について
		第5号議案 評議員の推薦について
		第6号議案 会計監査人の改選について

第7号議案 事業所集約について  
第8号議案 評議員会の開催について

- ②期 日 令和4年6月28日(火) 書面決議  
議案 決議事項 第1号議案 代表理事と副理事長の選定について
- ③期 日 令和4年8月31日(水)  
議案 決議事項 第1号議案 設計会社の選定について  
報告事項 第1号報告 シンジケートローン10億円の借入期間延長について  
第2号報告 梁川病院について
- ④期 日 令和4年11月30日(水) 書面決議  
議案 決議事項 第1号議案 令和4年度(第39期)上半期業績報告について  
第2号議案 北福島医療センター標榜科の変更について  
報告事項 第1号報告 事業所統合に係る福島県への報告について
- ⑤期 日 令和5年2月16日(木) 書面決議  
議案 決議事項 第1号議案 評議員会の開催(招集)について
- ⑥期 日 令和5年3月13日(月)  
議案 決議事項 第1号議案 北福島医療センター新築移転工事に係る  
優先交渉権者の選定について  
第2号議案 令和5年度(第40期)事業計画について  
第3号議案 令和5年度(第40期)収支予算について  
第4号議案 梁川病院の次年度計画について  
第5号議案 住居手当の新設について

## 2. 評議員会の開催

- ①期 日 令和4年6月28日(火) 書面決議  
議案 決議事項 第1号議案 令和3年度(第38期)事業報告について  
第2号議案 令和3年度(第38期)決算報告について  
第3号議案 理事の選任について  
第4号議案 監事の選任について  
第5号議案 評議員の選任について  
第6号議案 会計監査人の選任について
- ②期 日 令和5年3月13日(月)  
議案 決議事項 第1号議案 令和5年度(第40期)事業計画について  
第2号議案 令和5年度(第40期)収支予算について

報告事項	第1号報告	北福島医療センター新築移転工事に係る 優先交渉権者の選定について
	第2号報告	梁川病院の次年度計画について
	第3号報告	住居手当の新設について

### 3. 法人経営会議の開催

令和4年度 計7回開催

内 容 経営に関する重要事項の決定、理事会に上程すべき経営事項の検討及び決定等

- |      |               |  |
|------|---------------|--|
| ①期 日 | 令和4年4月11日（月）  | 議 事 (1) 令和4年度定期昇給について  |
| ②期 日 | 令和4年5月30日（月）  | 議 事 (1) 整形外科医師の採用について  |
| ③期 日 | 令和4年6月7日（火）   | 議 事 (1) 令和4年度夏季賞与の支給について   |
| ④期 日 | 令和4年11月7日（月）  | 議 事 (1) 令和4年度上半期事業報告について   |
| ⑤期 日 | 令和4年11月14日（月） | 議 事 (1) 令和4年度冬季賞与の支給について   |
| ⑥期 日 | 令和4年12月26日（月） | 議 事 (1) 看護師確保に向けての対策について<br>(2) 住宅手当の新設について                          |
| ⑦期 日 | 令和5年2月14日（火）  | 議 事 (1) 梁川病院介護処遇改善手当について<br>(2) 職員の賃金ベースアップについて<br>(3) 令和5年度定期昇給について |

## II 運営施設の事業報告

### 1 北福島医療センター（令和5年3月31日現在）

#### (1) 事業報告

令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症は感染者数の増減を繰り返しながら収束せず、その対応に多くの時間とマンパワーを要しました。令和5年3月からは、マスク着用が個人の選択となったことで、医療機関としてはこれまで以上に気の抜けない状況となりました。社会一般の認識と医療・介護現場の認識のずれが生じ、病院運営上の困難を感じました。新型コロナウイルス感染症に対応しつつ、一般救急患者の受け入れを行うことは、現場のスタッフにとっても大変な負担を強いられた中、職員一丸となって対応に努めました。

院内体制を再構築しつつ、スタッフの意識を揃えながら、少しずつ通常の診療体制を取り戻していきたいと考えています。令和5年度の梁川病院統合計画、その後の新病院建設計画という大きな目標に向かって、更なる前進を図っていききたいと考えています。

課題は山積ですが、地に足をつけて確実な歩みを進めるためにも、当初の事業計画を振り返る必要があり、そのような観点に立って、令和4年度の事業報告をいたします。

1. 新型コロナウイルス感染症に関しては、地域の中核病院として、自治体や医師会と連携しながら、敷地内にて発熱外来を運営し、地域住民の健康管理と安心に貢献してまいりましたが、令和5年5月1日をもって終了予定です。

また、令和5年5月8日からは、新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に引き下げられます。ただ、現時点で新型コロナウイルス感染症は収束しておらず、今後も入院や外来での受け入れを継続し、新型コロナウイルスワクチン接種にも伊達市と共に取り組んでいく所存です。そのことを通して、少しでも地域住民の健康維持に貢献したい、と考えています。

2. 福島県立医科大学の寄附講座である総合内科・感染症学講座の感染症専門医チームが陽性者の診療にあたってくれたことは、大きな力となりました。コメディカルや後方支援に努めた医師等の協力もあり、重点医療機関として福島県から一定の評価を受け、その役割を果たしてきました。これまでの経験を踏まえ、今後は一般医療との両立を図り、全職員がさらに一致団結して地域医療の一翼を担っていききたいと考えています。

3. 病棟運営に関しては、入院医療の適正化を目指したものの、今年度は重点医療機関として新型コロナウイルス感染症に注力しました。また、急性期病床の休床もあり、ベッド数が減少したことで、入院病床が逼迫する事態が続きました。院内のクラスターの発生から、患者受け入れを制限せざるを得ない状況や、病棟のスタッフ確保のため、一部の病棟での受け入れを一時的に制限せざるを得ない状況も続きました。

次年度以降はウィズコロナを見据え、梁川病院との統合計画も含め、新たな病棟構成を検討することが必要だと考えています。



4. 新型コロナウイルス感染症対応のため、救急患者の受け入れを制限せざるを得ないことがありましたが、救急指定病院として伊達地方病院輪番制を担い、救急医療委員会での検討を通して、基本的に救急患者を断らない診療体制を守り、診療科同士の連携でできる限り救急車の受け入れを行いました。
5. 地域支援病院として医療連携室の充実を図り、地域の医療機関や介護施設と連携しながら、MRI、CT の医療機器、手術室の共同利用等、引き続きオープンシステムの運営を行いました。また、医療資源の有効利用や医療連携の観点からも地域医療の中核としての役割を担いました。
6. 令和4年3月16日に発生した福島県沖地震により、再び建物や医療機器等、甚大な被害を受けました。改修工事は一段落したものの、更なる医療展開のためには、新病院建設計画を進めることで問題の解決を図ることになりました。地域住民のため、働く職員のためにも、スピード感をもって計画を進めていきたいと考えています。

以上のように、新型コロナウイルス感染症対応による通常医療の圧迫や地震等、想定外の災害が起きましたが、当院の役割である「地域医療」と「高度専門医療」のバランスを考慮しつつ病院運営を行ってまいりました。地域において当院の果たすべき役割を意識し、病院の健全経営を図りつつ地域に貢献し、今後も患者満足度、職員満足度の高い病院経営を目指してまいります。

## (2) 診療実績

①入院・外来の概要 \*病床稼働率の算出は、宿泊ドック及び退院数を除く入院患者延数で算出

入院概要			外来概要		
項目	令和4年度	令和3年度	項目	令和4年度	令和3年度
入院患者延数 (退院数含む)	43,621人	47,560人	患者延数	44,371人	41,297人
1日平均在院数	112人	122人	実働1日平均数 (救急外来患者含む)	147人	168人
平均在院日数	13日	15日	実働日数	295日	295日
病床稼働率%	49.5%	54.2%	外来平均単価	25,189円	26,271円
入院平均単価 (室料含む)	56,701円	51,796円			

(診療科別)

(単位：人)

入院患者延べ数 (退院数含まず)			外来患者延べ数 (救外患者含む)		
項目	令和4年度	令和3年度	項目	令和4年度	令和3年度
内科	3,917	4,600	内科	2,025	1,936
血液内科	11,525	15,551	血液内科	9,793	8,452
脳神経内科	0	3,109	脳神経内科	975	132
消化器科・外科	6,183	5,864	消化器科・外科	8,614	7,824

乳腺科	2,080	1,777	乳腺科	8,518	9,054
循環器科	0	0	循環器科	3,265	3,171
整形外科	1,053	129	整形外科	2,094	1,512
眼科	323	308	眼科	41	30
リハビリテーション科	11,975	10,759	リハビリテーション科	2,438	2,088
放射線科	53	180	放射線科	2,996	5,108
総合内科	3,716	2,470	総合内科	1,863	1,108
人間ドック	0	0	人間ドック	15,562	16,466
発熱外来	0	0	発熱外来	600	444
その他	0	0	その他	1,149	438
合 計	40,825	44,747	合 計	59,933	57,763

②救急搬入患者

救急車による救急患者			その他の救急患者		
項 目	令和4年度	令和3年度	項 目	令和4年度	令和3年度
日勤帯搬入患者	599人	485人	日勤帯	2,609人	1,533人
夜間帯搬入患者	469人	378人	夜間帯	841人	695人
救急車台数	1,068台	863台			

1日平均救急外来患者数	令和4年度	令和3年度
	12.3人	8.4人

③手術件数 \* ( )内は手術室の共同利用の再掲

(単位：件)

診療科	令和4年度	令和3年度
消化器科	150	198
整形外科	78 (35)	38 (38)
乳腺科	170	147
眼科	340	312
合計	738 (35)	695 (38)

④紹介・逆紹介患者数

項 目	令和4年度	令和3年度
紹介患者数(初診患者)	5,420人	5,630人
紹介率	51.5%	66.3%
診療情報提供書	2,850枚	3,075枚

逆紹介率	58.3%	79.5%
------	-------	-------

⑤画像検査件数 \* ( ) 内は画像検査機器の共同利用の再掲 (単位: 件)

項 目	令和4年度	令和3年度
MRI 検査	4,283 (2,438)	4,287 (2,164)
CT 検査	6,161 ( 905)	6,158 ( 908)
RI 検査	110 ( 0)	89 ( 0)

⑥放射線治療件数 (単位: 件)

項 目	令和4年度	令和3年度
治療計画実数	84	167

(部位別治療延件数) \* ( ) 内は院外紹介の治療延件数の再掲 (単位: 件)

項 目	令和4年度	令和3年度
前立腺	639 (639)	1,611 (1,611)
骨転移	47	125
リンパ腫	149	221 ( 12)
乳房		
乳房術後照射	629	1,181 ( 116)
腫瘍 (骨盤)	72 (47)	66 ( 39)
腫瘍 (腹部)	30 (11)	51 ( 7)
腫瘍 (胸部)	36 (24)	15 ( 8)
腫瘍 (四肢)	—	—
胸壁	—	—
合計	1,602 (721)	3,270 (1,793)

⑦輸血療法・化学療法・移植 (単位: 件)

項 目	令和4年度	令和3年度
輸血療法	631	729
化学療法	1,611	1,455
移植	3	3

⑧内視鏡検査 (単位: 件)

項 目	令和4年度	令和3年度
上部消化管内視鏡	5,368	4,878
下部消化管内視鏡	975	969

⑨リハビリテーション患者数

項 目		令和 4 年度		令和 3 年度	
		単位数	患者数	単位数	患者数
入院	急性期	26,468	1,713	23,826	1,548
	回復期	67,895	572	60,180	520
	地域包括※	0	0	1,997	92
外来		5,846	1,234	5,567	1,212

※令和3年7月より重点医療機関による病床受け入れを13床から20床としたため地域包括病床を休床。

⑩予防健診受診延べ数

(単位:人)

項 目	令和 4 年度	令和 3 年度
日帰りドック	2,541	2,571
住民検診	3,909	4,319
臓器別検診	1,019	965
その他の検診	3,503	3,701
協会けんぽ健診	3,228	3,128

(3) 施設概要

- ①所在地 〒960-0502 伊達市箱崎字東 23 番地 1  
TEL 024-551-0551 FAX 024-551-0808
- ②標榜科目 (16科) 内科 脳神経内科 血液内科 内科・リウマチ科 糖尿病・内分泌内科  
消化器内科 消化器外科 循環器内科 外科 乳腺外科 整形外科  
婦人科 眼科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科
- ③開設年月日 平成 14 年 12 月 1 日
- ④院長 志賀 隆
- ⑤病床数 226 床 (一般病棟 143 床、回復期リハビリテーション病棟 55 床、  
地域包括ケア病棟 28 床)
- ⑥構造及び面積 S 造・1 階一部 RC 造 19,248.75 m<sup>2</sup>
- ⑦敷地面積 35,142 m<sup>2</sup>
- ⑧職員数 306.3 名 (常勤換算)
- ⑨施設基準等

・認定施設

健康保険法指定保険医療機関	国民健康保険指定保険医療機関
地域医療支援病院認定施設	DPC 対象病院
臨床研修病院 (協力型)	労災保険指定医療機関
地域リハビリテーション相談センター	母体保護法指定医療機関

生活保護法指定医療機関  
結核予防法指定医療機関  
救急告示病院（二次）  
原子爆弾被爆者一般疾病医療機関

海外渡航者予防接種実施機関  
日本臍帯血ネットワーク「移植医療機関登録」  
開放型病院認定  
臨床修練指定病院

・予防医学の指定

日本病院協会指定人間ドック機関  
伊達市、国見・桑折町施設検診医療機関  
労災保険二次健診等給付医療機関

全日本病院協会指定人間ドック機関  
全国健康保険協会生活習慣病予防健診実施機関  
特定健診・特定保健指導実施医療機関

・届出事項

(基本診療科)

急性期一般入院料 1  
地域包括ケア病棟入院料 2  
看護職員配置加算  
看護補助者配置加算  
療養環境加算  
急性期看護補助体制加算 夜間 100 対 1  
無菌治療室管理加算 1  
医療安全対策加算 1  
医療安全地域連携加算 1  
医師事務作業補助体制加算 (2) 20 対 1  
せん妄ハイリスク患者ケア加算  
感染対策向上加算 1  
感染防止対策地域連携加算

データ提出加算 2-イ  
患者サポート体制充実加算  
診療録管理体制加算 1  
回復期リハビリテーション病棟入院料 1  
体制強化加算  
栄養サポートチーム加算  
重症者等療養環境特別加算  
急性期看護補助体制加算 25 対 1  
救急医療管理加算  
看護職員夜間配置加算 12 対 1 配置加算 1  
入退院支援加算 1  
看護職員処遇改善評価料 49

(特掲診療科)

開放型病院共同指導料  
がん患者リハビリテーション料  
がん治療連携指導料  
画像診断管理加算 2  
医療機器安全管理料 1  
検体検査管理加算 (II)  
乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検 (併用)  
冠動脈 CT 撮影加算  
心臓 MRI 撮影加算  
乳房 MRI 撮影加算  
脳血管疾患等リハビリテーション料 (I) 初期加算

薬剤管理指導料  
外来腫瘍化学療法診療科 1  
外来化学療法加算 1  
CT 撮影及び MRI 撮影  
医療機器安全管理料 2  
高エネルギー放射線治療  
乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検 (単独)  
MRI3 テスラ以上施設共同利用  
64 列以上マルチスライス CT 施設共同利用  
画像誘導放射線治療加算 (IGRT)  
外来リハビリテーション診療料

呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算	在宅患者訪問看護・指導料
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算	放射線治療専任加算
外来放射線治療加算	定位放射線治療（体幹部に対して行う場合）
1回線量増加加算（全乳房照射・前立腺）	人工肛門・人工膀胱造設術前処理加算
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	BRCA1/2 遺伝子検査
がん患者指導管理料イ	がん患者指導管理料ロ
二次性骨折予防継続管理料 1	二次性骨折予防継続管理料 2
二次性骨折予防継続管理料 3	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に規定	無菌製剤処理料
する救急搬送看護体制加算 2	

・学会認定施設

日本血液学会認定血液研修施設	日本老年医学会認定施設
日本乳癌学会認定施設	日本リハビリテーション医学会研修施設
日本外科学会外科専門医制度関連施設	日本感染症学会認定施設
日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診施設画像認定施設	日本静脈経腸栄養学会・NST 稼働施設
	薬学教育協議会薬学生実務実習受入施設

(4) DPC 係数

基礎係数 1.0395 + 激変緩和係数 0 + 機能評価係数Ⅰ 0.3136 + 機能評価係数Ⅱ 0.0885 = 1.4416

【機能評価係数Ⅰ】 合計 0.3136

1、入院基本料 7 対 1	0.1007
2、地域医療支援病院入院診療加算	0.0306
3、臨床研修病院入院診療加算 2 協力型	0.0000
4、急性看護補助加算（25 対 1 看護補助者）	0.0559
5、急性期看護補助加算（夜間 100 対 1）	0.0267
6、医療安全体制加算 1	0.003
7、医療安全地域対策加算 1	0.0017
8、データ提出加算 2-イ	0.0052
9、提出データ評価加算	0.0000
10、検体検査管理加算Ⅱ	0.0026
11、診療録管理加算	0.0031
12、医師事務作業補助加算 1（20 対 1）	0.0291
13、後発医薬品使用体制加算 1	0.0014
14、看護職員夜間配置加算 1（12 対 1）	0.0279
15、感染対策向上加算 1	0.0247
16、感染対策向上加算 指導強化加算	0.001

【機能評価係数Ⅱ】 合計 0.0885

1、保険診療係数	0.01764
2、効率性係数	0.01377
3、複雑性係数	0.03573
4、カバー率係数	0.00838
5、救急医療係数	0.00626
6、地域医療係数	0.00674

## 2 保原中央クリニック（令和5年3月31日現在）

### （1）事業報告

令和4年3月16日、福島県沖地震が発生し、外壁や柱の損傷等、甚大な被害に見舞われました。応急対策を実施した後、正面玄関については耐震補強工事を実施している状況です。その後も空調機器の故障や配管の破断が発生し、患者様にはご不便をお掛けする状況が続きました。

年間の総外来患者数は、昨年度より9千人程減少しておりますが、脳神経内科医師の退職や整形外科での診療縮小による影響が大きく、コロナ禍における患者様の受診控えの影響も感じられた1年でもありました。在宅診療においては訪問先の施設でクラスターが発生し、訪問を見送るケースが複数回あり前年より若干の減少となりました。そのような状況下でも年間で32件の新規受入、18件の看取りを実施しました。

また、年間を通して新型コロナウイルス感染症への対応に注力しました。新型コロナウイルスワクチン接種業務については、院内で実施する個別接種の他、介護施設に出向して接種業務を行いました。その他、伊達市が運営する集団接種会場へ医師、看護師派遣を行いました。

今年度より検査医療機関として、発熱者の抗原検査を開始しました。検査を実施する時間帯を統一し、検査場所は屋外とする等、効率的かつ安全な検査体制を進める事ができました。一般患者においても検温や問診の徹底を行い、感染予防対策に取り組んだことで、院内クラスターを発生させることなく診療を行いました。

今後も引き続き安心・安全な受診環境を確保し、地域が求める医療を提供できるよう運営してまいります。

### （2）診療実績

#### ①外来の概要

項目	令和4年度	令和3年度
外来患者延数	60,705人	69,324人
実働1日平均数	205.9人	236.8人
実働日数	295日	295日
新患者数	272人	372人

#### （診療科別）

（単位：人）

項目	令和4年度	令和3年度
内科・脳神経内科	28,191	35,187
整形外科	8,378	10,061
心臓血管外科	715	791
婦人科	3,642	3,515
眼科	14,808	14,810
皮膚科	1,459	1,736



耳鼻咽喉科	2,988	3,515
リハビリテーション科		
電離検診、健康診断	524	586
合 計	60,705	69,824

②訪問診療延べ数

(単位:人)

診療科	令和4年度	令和3年度
家庭医療科	1,173	1,189

③紹介患者数

(単位:人)

診療科	令和4年度	令和3年度
紹介患者数	606	814

(3) 施設概要

①所在地

〒960-0611 伊達市保原町字城ノ内 73 番地 1

TEL 024-575-3231 FAX 024-575-3233

②標榜科目

内科 脳神経内科 整形外科 心臓血管外科 皮膚科 婦人科

(8科)

眼科 耳鼻咽喉科

③開設年月日

平成14年12月1日

④管理者

院長 菊池重幸

⑤構造及び面積

鉄筋コンクリート 7,559.54 m<sup>2</sup>

⑦敷地面積

6,593.2 m<sup>2</sup>

⑧職員数

35.6名(常勤換算)

⑨施設基準等

・認定施設

健康保険法指定保険医療機関

国民健康保険指定保険医療機関

労災保険指定医療機関

生活保護法指定医療機関

母体保護法指定医療機関

結核予防法指定医療機関

海外渡航者予防接種実施機関

原子爆弾被爆者一般疾医療取扱機関

在宅酸素施設認定

子宮癌施設検診医療機関

・届出事項

在宅時医学総合管理料(強化型)

検体検査管理加算(Ⅰ)

ニコチン依存症管理料

在宅療養支援診療所

コンタクトレンズ検査料1

在宅末期医療総合診療料

がん性疼痛緩和指導管理料

外来感染対策向上加算

夜間・早朝等加算

がん治療連携指導料

明細書発行体制加算

電子化加算

機能強化加算

地域連携診療計画退院時指導料(Ⅱ)

### 3 梁川病院（令和5年3月31日現在）

#### （1）事業報告

伊達市からの移譲を受け、仁泉会において梁川病院が開設され12年になろうとしています。令和3年2月13日、令和4年3月16日の最大震度6強の地震にも建物は何とか持ち堪えましたが、昭和30年代に梁川国保診療所を前身として地域の皆様に愛されてきた梁川病院は、医療情勢の変化、老朽化等の問題から、当地での存続は困難と判断し、北福島医療センターに統合するという計画が決定されました。

そのための準備と国の介護療養病床制度が令和5年度末で終了することもあり、これまでの介護療養病床50床全てを医療療養病床に転換する必要がありましたが、患者様の退院、移動等のご協力をいただきながら無事に達成することができました。

その転換業務の最中である11月初めに、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、重症化のリスクを抱えた入院患者は重点医療機関である北福島医療センターに転院して治療を受けました。保健所や北福島医療センター感染対策チームの指導の下、外来と入退院の制限、各所の感染対策を徹底的に見直してそれ以降の感染拡大はなく、11月下旬には正常に診療を再開することができました。

患者様の送迎問題等、山積する諸問題の解決に職員一丸となって取り組み、現在は7月31日閉院、8月1日統合移転の予定で準備を進めています。関係各所におかれては、ご理解の程、宜しくお願いいたします。

#### （2）診療実績

##### ①入院・外来の概要

入院概要			外来概要		
項目	令和4年度	令和3年度	項目	令和4年度	令和3年度
入院患者延数 (退院数含む)	13,186人	15,406人	外来患者延数	9,506人	8,982人
1日平均在院数	36.1人	42.0人	実働1日平均数	32.2人	30.0人
			実働日数	295日	297日
			新患者数	93人	65人

##### ②リハビリテーション延べ件数

(単位：件)

項目		令和4年度	令和3年度
外来	運動器リハビリ	414	387
	脳血管疾患等リハビリ(Ⅱ)・(Ⅲ)	0	0
	消炎鎮痛	1	1
入院	理学療法(Ⅰ)	1,735	3,706
	短期集中リハビリ	69	0



## 4 プライムケア桃花林（令和5年3月31日現在）

### （1）事業報告

令和4年度を振り返りますと、施設内で新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けた一年となりました。施設内で感染症が拡大し、クラスター化した結果、入所部門、通所部門ともにサービス提供を一時制限しなければならない状況が続き、地域の利用者の皆様やそのご家族に大変な負担をお掛けする結果となりました。

事業内容としては、超強化型老健として、在宅支援を中心に看取り等、質の高いケアの実施に取り組みました。特に看取りケアに関しては、3件の実施件数だった令和3年度と比較し、13件の実績を残すことができました。専門性の高いケアとなる所定疾患施設療養や重度療養管理に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた結果、ベッド稼働率が低下し、それに比例して算定件数も減少する結果となりました。

令和5年5月には新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となり、老健としての在宅支援や通所リハビリテーション等のサービス提供における通常稼働が期待されています。引き続き感染対策に取り組み、施設内だけでなく介護教室や認知症カフェ等の地域における活動を進めてまいります。

### （2）利用者実績

#### ①入所・退所の概要

入所概要			通所概要		
項目	令和4年度	令和3年度	項目	令和4年度	令和3年度
入所者延数 (退所数含む)	51,076人	53,560人	通所者延数	12,751人	14,825人
1日平均在所数	139.9人	146.7人	1日平均通所数	34.9人	40.6人
利用率%	93.3%	97.8%			
在宅復帰率%	64.3%	72.52%			

#### ②経路別入所・退所

(単位:件)

経路別入所			経路別退所		
項目	令和4年度	令和3年度	項目	令和4年度	令和3年度
自宅	2,461	2,916	自宅	2,261	2,905
医療機関	181	140	医療機関	118	126
介護施設	8	17	介護施設	62	46
			死亡(看取り)	13	3
その他	10	4	その他	0	4

③在宅復帰・在宅療養支援等の状況

	令和4年度	令和3年度
在宅復帰率	64.3%	72.5%
ベッド回転率	41.0%	43.9%
入所前後訪問指導割合	40.4%	42.8%
退所前後訪問指導割合	40.7%	44.7%
居宅サービスの実施数	2サービス	2サービス
リハビリ専門職の配置割合	6.5人	7.5人
支援相談員の配置割合	3.5人	3.5人
要介護4又は5の割合	49.1%	37.7%
喀痰吸引の実施割合	0.8%	1.2%
経管栄養の実施割合	2.3%	2.5%

④医療ケアに関する加算状況

	令和4年度	令和3年度
ターミナルケア加算	13件	3件
所定疾患施設療養費	113日	122日
重度療養管理加算	892日	1,146日

(3) 施設概況

- ①所在地等 〒960-0665 伊達市保原町字岡代9番地1  
TEL 024-575-0750 FAX 024-575-0962
- ②開設年月日 平成4年11月9日
- ③管理者名 施設長 石井 証
- ④定床数 入所 150名（うち認知症専門50名）  
通所 70名（5単位）
- ⑤構造及び面積 鉄筋コンクリート及び鉄骨造 5,952.26㎡
- ⑥敷地面積 17,211.97㎡
- ⑦職員数 136.3名（常勤換算）
- ⑧施設基準等
- ・認定施設
 

介護老人保健施設	通所リハビリテーション事業
短期入所療養介護事業	生活保護法指定介護機関
リハビリテーション加算	

## 5 ほばら訪問看護ステーション・ヘルパーステーション・居宅介護支援事業所

(令和4年9月30日現在)

### (1) 事業報告

常に訪問看護ステーション・ヘルパーステーション・居宅介護支援事業所の3事業所間の連携を図りながら、ご利用者やご家族が安心して在宅で生活できることに努めました。

訪問看護は、24時間体制を継続し、在宅看取りの支援も数多く行いました。

リハビリでは、新規依頼にも対応し、訪問件数が維持できました。

介護部門では、訪問曜日や時間などの調整を行い、柔軟に対応することができました。

居宅部門は、コロナ禍の影響により対面での情報収集が困難な状況でありましたが、オンラインを活用し、情報共有に努めました。

令和4年9月で3事業所共に閉鎖となり、あぶくま訪問看護ステーション、あぶくまヘルパーステーション及びあぶくまケアプランステーションと統合になりました。

統合後もこれまでと変わらず、在宅での生活を支援してまいります。

### (2) 利用者実績

項目	令和4年度	令和3年度
訪問看護延べ数	2,905人	6,129人
訪問リハビリ延べ数	836人	1,693人
訪問介護延べ数	2,714人	5,584人
居宅介護支援計画実数	411件	849件

### (3) 居宅部門利用件数

#### ①居宅介護支援計画作成者（実人数）

単位：人

介護度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
要介護1	27	26	26	27	26	27	159
要介護2	10	13	12	12	13	16	76
要介護3	15	14	15	15	14	12	85
要介護4	5	5	5	7	6	7	35
要介護5	9	9	10	11	9	8	56
合計	66	67	68	72	68	70	411

#### ②地域別（実人数）

単位：人

地域別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
伊達市保原町	56	56	61	63	58	60	354
伊達市梁川町	3	2	0	0	2	2	9
伊達市霊山町	4	6	5	6	5	5	31
伊達市旧伊達町	0	0	0	1	1	2	4
伊達市月舘町	1	1	1	1	1	1	6



## 6 あぶくま訪問看護ステーション・ヘルパーステーション・居宅介護支援事業所 (令和4年9月30日現在)

### (1) 事業報告

利用者やそのご家族が安心して生活が送れるよう職員一同、寄り添ったケアを提供し、関係機関と連携を図りながら在宅支援を行いました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症による事業所内のクラスターは避けられたものの、各部署で利用者やそのご家族、また、職員等に感染者や濃厚接触者が多くあり、訪問を中止することも多くありましたが、BCPを作成し、感染対策を強化して可能な限り訪問体制を維持しました。

看護では、急な体調変化による医療処置が多く発生し、そのような状況においても、県からの依頼で新型コロナウイルス感染在宅療養者の健康観察を行ってまいりました。

リハビリ、介護は、入所や入院等で利用者が減少、またスタッフの産休等により訪問調整が生じ、日程が合わない等で訪問数が減少しましたが、積極的に新規受け入れの確保に取り組みました。

居宅は、依頼頻度が前年度同様に多く、利用者定数を超えてしまう等の対応に追われましたが、信頼関係を構築しながら確実な支援を進めました。

### (2) 利用者実績

項目	令和4年度	令和3年度
訪問看護延べ数	4,339人	7,926人
訪問リハビリ延べ数	2,359人	4,921人
訪問介護延べ数	1,810人	4,057人
居宅介護支援計画実数	501件	992件

### (3) 居宅部門利用件数

①居宅介護支援計画作成者（実人数）

単位：人

介護度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
要介護1	30	29	30	30	30	26	175
要介護2	21	19	18	18	14	16	106
要介護3	14	13	13	15	14	14	83
要介護4	14	14	14	12	13	11	78
要介護5	7	7	9	9	8	9	49
未認定	1	1	2	0	3	3	10
合計	87	83	86	84	82	79	501





## 7 あぶくま訪問看護ステーション（令和5年3月31日現在）

### （1）事業報告

10月1日より、ほばら訪問看護ステーションとあぶくま訪問看護ステーションを統合し、新たにあぶくま訪問看護ステーションとして稼働しました。エリア拡大により新規依頼は月平均15人程に増え、特に医療保険やリハビリの依頼が増えました。入院等により利用者の移動も多く、利用者件数の伸びは少ないものの、スタッフ1名の長期休養もあり、1人あたりの訪問件数は多くなりました。

リハビリは、保原町や梁川町の依頼が増えており、スタッフの補充もされたことで今後更なる依頼数の増加が期待できるところです。

また、統合したことをきっかけとして、スタッフ同士の情報共有を密に行いながら、質の向上に取り組みました。

近年、医療処置やターミナル期の利用者が増えつつあります。今後も感染予防対策に努めながら、夜間2人体制とする24時間体制を維持し、迅速な対応と質の向上に努め、地域貢献してまいります。

### （2）利用者実績

項目	令和4年度
訪問看護延べ数	7,118人
訪問リハビリ延べ数	2,943人

### （3）施設概況

①所在地等 〒960-0684 福島県伊達市保原町上保原字大地内39番地4  
TEL024-575-0001 FAX024-575-0003

②管理者名 所長 丸山悦子

③開設日等 平成8年5月1日

サービス科目 訪問看護

④職員数 21.2名（常勤換算）

#### ⑤施設基準等

##### ・認定施設

国民健康保険指定保険医療機関

健康保険法指定保険医療機関

指定訪問看護事業

指定老人訪問看護事業

生活保護法指定医療機関

特定疾患治療研究事業指定医療機関

24時間対応体制

遷延性意識障害治療研究事業指定医療機関

特定自立支援医療機関（精神通院医療）

訪問リハビリ・ステーション指定機関

## 8 あぶくまヘルパーステーション（令和5年3月31日現在）

### （1）事業報告

令和4年10月にあぶくまヘルパーステーションとほばらヘルパーステーションが統合しました。統合したことにより、伊達市を中心に桑折町や国見町の依頼にも積極的に対応しています。スタッフも増えたことにより、週末の訪問にも対応可能になっています。

3月からは特定事業所加算を算定することができました。引き続き、スタッフ個々の技術の向上を図り、ご利用者・ご家族・関係機関の皆様信頼される事業所を目指してまいります。

### （2）利用者実績

項目	令和4年度
訪問介護延べ数	4,716人

### （3）施設概況

①所在地等 〒960-0684 伊達市保原町上保原字大地内 39 番地 4  
TEL 024-575-2826 FAX 024-575-0003

②管理者名 所長 馬場真知子

③開設日等 平成 12 年 4 月 1 日

サービス科目 訪問介護

④職員数 7.3 名（常勤換算）

#### ⑤施設基準等

##### ・認定施設

指定居宅サービス事業（訪問介護）

指定介護予防サービス事業

生活保護法指定機関

## 9 保原指定居宅介護支援事業所（令和4年9月30日現在）

### （1）事業報告

今年度も積極的に新規支援に努めましたが、亡くなられる利用者や介護保険施設入所者の増加から、支援件数が平均161件という結果となり、前年度と比較して同等の支援件数となりました。

要介護3以上の中重度者の支援件数においては、就労と介護の両立が困難な家庭が増えている状態から介護保険施設入居を希望される方が多く、長期での支援が困難な現状にあります。要介護1と要介護2が約7割、要支援者の予防プラン作成が12件前後と毎月一定の支援件数を確保することができました。

また、10月からの事業所統合にあたり、8月に契約者への説明を開始しましたが、契約解除者は無く、引続きのケアプラン作成となりました。この間も、利用者の入院・退院・退所等の必要な情報共有はICT活用を含め、従来通り実施することができました。

### （2）利用者実績

（単位：件）

項目	令和4年度	令和3年度
居宅介護支援計画実数	968	1,934

### （3）施設概況

①所在地等 〒960-0665 伊達市保原町字岡代10番地1

TEL 024-575-0707 FAX 024-575-0606

②開設日 平成12年4月1日

③管理者名 所長 加藤京子

④職員数 5.0名（常勤換算）

⑤施設基準等

・認定施設

指定居宅介護支援事業

生活保護法指定機関

## 10 あぶくまケアプランステーション（令和5年3月31日現在）

### （1）事業報告

令和4年10月1日よりほばら居宅介護支援事業所、あぶくま居宅介護支援事業所及び保原指定居宅介護支援事業所が統合し、あぶくまケアプランステーションとして移転開設しました。当初は300名を超える契約者様からの電話対応に苦慮しましたが、お一人お一人と、信頼関係を構築しながら支援を行うことができました。

また、契約いただいている皆様からの相談等にスムーズな対応ができるよう、事業所内での情報共有を密に行いました。12月からは、特定事業所加算を取得し、職員の資質向上を目的とした研修や事例検討会等、時間を確保し契約者の支援に努めました。

### （2）利用者実績

項目	令和4年度
居宅介護支援計画実数	1,889件

### （3）施設概況

①所在地等 〒960-0684 伊達市保原町上保原字大地内 39 番地 4  
TEL 024-575-0707 FAX 024-575-0606

②開設日 平成12年4月1日

③管理者名 所長 加藤京子

④職員数 8.0名（常勤換算）

#### ⑤施設基準等

##### ・認定施設

指定居宅介護支援事業

生活保護法指定機関

## 1 1 伊達市保原地域包括支援センター（伊達市より委託）（令和5年3月31日現在）

### （1）事業報告

高齢一人暮らし、二人暮らしの訪問活動と、民生児童委員・地域自治組織の方々へ向けた活動を通して、感染対策のために活動範囲が減少している方のフレイル状態の解消の重要性と、当センターが介護予防の拠点であることの周知に努めました。

総合相談事業では、介護、障害、経済的困窮、ヤングケアラー等、複合的課題を持つ世帯への相談が増加している現状を行政機関と共有し、各制度間を横に繋ぐ基盤整備をスタートしました。

認知症に対する正しい知識を広める取り組みは、オンラインと会場来訪の混合型開催や、少人数による複数回開催等、感染予防対策を工夫した認知症カフェを継続実施することができました。次年度以降につながる地域住民と医療、介護の専門職がともに認知症について考える場としても有効な活動となりました。

### （2）利用者実績

（単位：件）

項目	令和4年度	令和3年度
相談実件数	3,934	3,962
介護予防支援計画作成者実数	2,535	2,759

### （3）施設概況

①所在地等 〒960-0684 伊達市保原町上保原字大地内 39 番地 4

TEL 024-574-4774 FAX 024-574-4811

②開設日 平成 18 年 4 月 1 日

③管理者名 所長 森 美樹

④職員数 5.8 名（常勤換算）

#### ⑤施設基準等

##### ・認定施設

介護予防支援事業

生活保護法指定機関

### III 参 考 资 料

## 1 法人概要(令和5年3月31日現在)

- (1) 法人名 公益財団法人 仁泉会
- (2) 代表理事名 佐藤 喜一
- (3) 法人住所 〒960-0596 福島県伊達市箱崎字東 23 番地 1
- (4) 公益目的事業 医療及び介護を提供する活動、疾病予防活動及び健康増進に関する啓蒙活動を行い、地域住民の健康保持増進に寄与する事業
- (5) 開設日 昭和 59 年 4 月 1 日 (公益財団法人認定 平成 23 年 8 月 1 日)
- (6) 運営施設 北福島医療センター (地域医療支援病院)  
保原中央クリニック (外来専門)  
梁川病院 (療養型医療施設)  
プライムケア桃花林 (介護老人保健施設)  
あぶくま訪問看護ステーション  
あぶくまヘルパーステーション  
あぶくまケアプランステーション  
伊達市保原地域包括支援センター (伊達市より委託)  
わんぱくらんど (事業所内保育所)
- (7) 職員数 580.3 名 (令和 5 年 3 月 31 日現在 常勤換算)

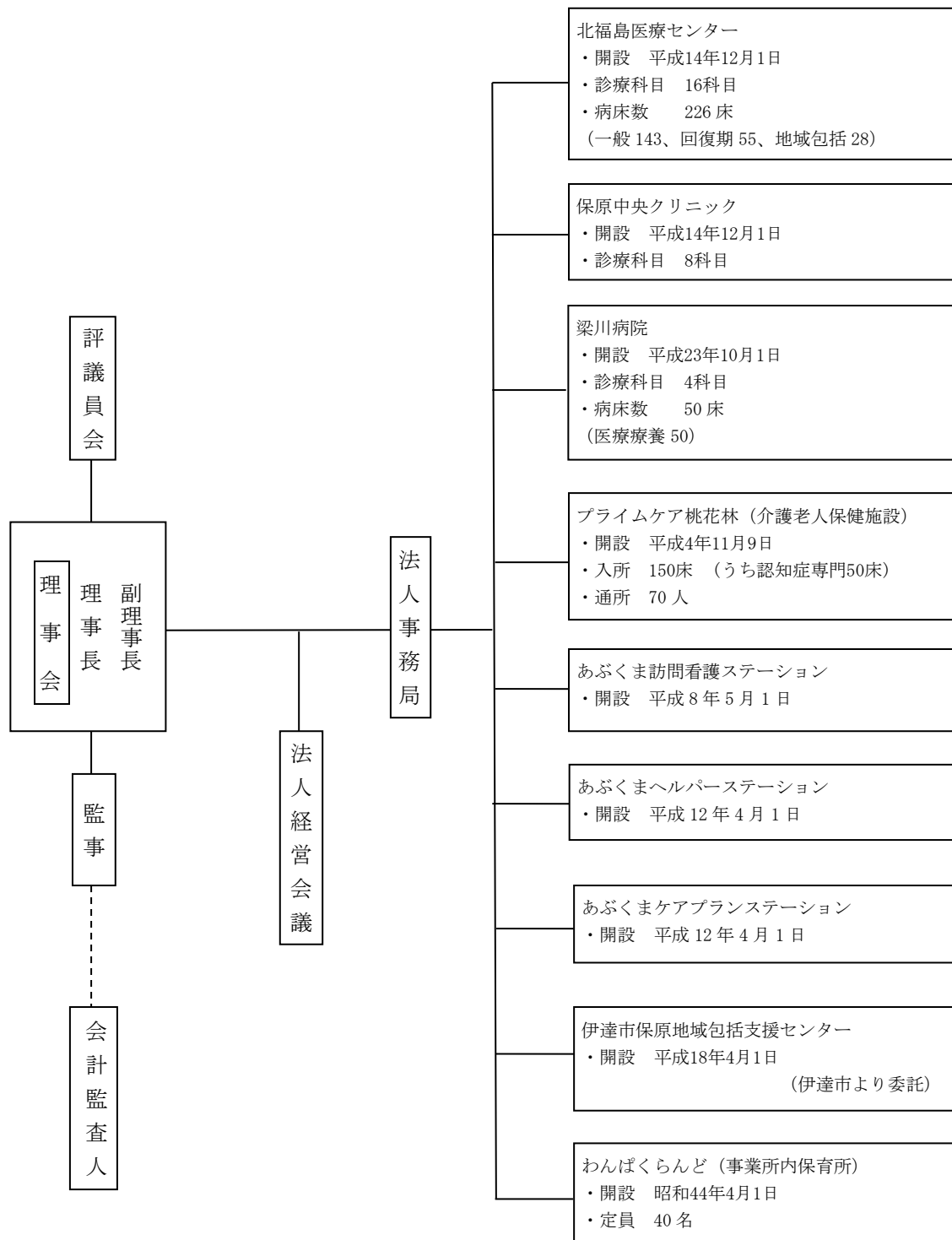


## 2 沿革

昭和 30 年	12 月 15 日	伊達郡保原町字栄町に さとう医院 (12 床) 開設
34 年	12 月	伊達郡保原町字古町に さとう医院 新築移転 (19 床)
41 年	2 月	伊達郡保原町字城ノ内に保原中央病院 移転 開設 (40 床)
44 年	4 月	院内保育所開設
47 年	9 月	独身寮、社宅の完成 (保原町字古町)
48 年	4 月	医療法人保原中央病院設立 (111 床)
50 年	9 月	医療法人好仁会設立
51 年	3 月	本館増築 保原中央病院 (70 床)
		増築に伴い、旧保原中央病院 (111 床) を保原第一病院として開設
53 年	11 月	保原中央病院、保原第一病院合併 (181 床)
59 年	4 月 1 日	財団法人仁泉会医学研究所設立
	12 月 28 日	保原中央病院増改築工事完成 (252 床)
61 年	4 月 1 日	総合病院認可 総合保原中央病院
	9 月 1 日	巡回診療所開設
62 年	9 月 1 日	動物実験研究棟の完成
平成 2 年	2 月 1 日	院内保育所わんぱくらんど移転
		運動療法研究センター開設 (旧保育所)
3 年	12 月 1 日	セントクリニック開設 (19 床)
4 年	11 月 9 日	老人保健施設プライムケア桃花林開設 (100 床)
	11 月 10 日	ほばら訪問看護ステーション開設
7 年	4 月 20 日	保原町在宅介護支援センター受託開始
	6 月 1 日	総合保原中央病院附属みなみクリニック開設
8 年	5 月 1 日	あぶくま訪問看護ステーション開設
10 年	4 月 13 日	老人保健施設プライムケア桃花林認知症専門棟増築 (150 床)
12 年	4 月 1 日	保原指定居宅介護支援事業所開設
		保原訪問看護ステーションをほばら訪問看護ステーションに改名
		ほばらヘルパーステーション開設
		ほばら訪看指定居宅介護支援事業所開設
		あぶくまヘルパーステーション開設
		あぶくま訪看指定居宅介護支援事業所開設
12 年	4 月 25 日	財団法人仁泉会医学研究所評議員会設置
14 年	12 月 1 日	北福島医療センター開設 (226 床)
		総合保原中央病院を閉院し、保原中央クリニック開設
15 年	5 月 1 日	みなみクリニックを閉院し、保原中央クリニックに統合
18 年	4 月 1 日	町村合併に伴い、伊達市保原地域包括支援センターとして受託開始
21 年	6 月 1 日	北福島医療センター放射線治療センター増築
23 年	8 月 1 日	公益財団法人認定 公益財団法人仁泉会となる

平成 23 年	10 月 1 日	梁川病院開設
30 年	7 月 20 日	ホームホスピスマほろば開設
令和 2 年	3 月 31 日	セントクリニック閉院
	3 月 31 日	ホームホスピスマほろば閉所
	10 月 1 日	福島県立医科大学寄附講座「総合内科・臨床感染症学講座」開設
令和 3 年	9 月 1 日	北福島医療センター内にリケッチア症研究所開設
	12 月 1 日	梁川病院 介護療養病床 50 床のうち 20 床を医療療養病床に転換
令和 4 年	10 月 1 日	ほばら訪問看護ステーションをあぶくま訪問看護ステーションに統合 ほばらヘルパーステーションをあぶくまヘルパーステーションに統合 あぶくま訪看指定居宅介護支援事業所、ほばら訪看指定居宅介護支援事業所、 保原指定居宅介護支援事業所を統合し、あぶくまケアプランステーションと 改名
令和 4 年	10 月 1 日	あぶくま訪問看護ステーション、あぶくまヘルパーステーション、あぶくま ケアプランステーション、伊達市保原地域包括支援センター（伊達市より委 託）の 4 事業所を旧セントクリニックに移転
令和 5 年	2 月 1 日	梁川病院 介護療養病床 30 床を医療療養病床に転換 50 床すべて医療療養病床として算定開始

### 3 組織図 (令和5年3月31日現在)



#### 4 評議員・役員・会計監査人の状況（就任順・生年月日順）令和5年3月31日現在

##### (1) 評議員（8名）

氏名	職業・職歴など	就任日
中野 新一	福島産業保健総合支援センター 所長 医療法人敬仁会なかのクリニック 理事長	平成23年8月1日
庄司 光男	公立藤田総合病院 名誉院長	平成23年8月1日
渡辺 艶子	公益社団法人福島明星厚生学院 福島看護専門学校 校長	平成23年8月1日
佐藤 和子	有限会社佐平 取締役 チャイルドラインふくしま 監事	平成23年8月1日
佐藤 敏信	元 厚生労働省健康局長 久留米大学特命教授	平成29年6月27日
数又 清市	ふくしま未来農業協同組合 代表理事組合長	令和元年6月25日
佐藤 直子	伊達市健康福祉部 部長兼福祉事務所長	令和3年6月29日
佐藤 正	一般社団法人伊達医師会 会長 医療法人すずき医院 理事長	令和4年6月28日

##### (2) 理事（13名）

氏名	職業・職歴など	就任日
佐藤 喜一	理事長	平成30年7月25日
菊池 重幸	保原中央クリニック 院長	平成16年6月1日
木村 秀夫	副理事長	平成23年8月1日
今野 明	梁川病院 院長	平成25年3月22日
石井 祐聖	福巖寺 住職	平成25年3月22日
秋山 時夫	前公立小野町地方総合病院企業団企業長	平成26年6月26日
志賀 隆	北福島医療センター 院長	平成28年6月28日
佐藤 純啓	株式会社レパコ 代表取締役	平成28年6月28日
花田 昴	元福島民報社 代表取締役社長	平成30年6月29日
吉田 浩	北福島医療センター 名誉院長	平成30年6月29日
大槻 剛智	北福島医療センター リハビリテーションセンター長	平成30年6月29日
平野 典子	公益財団法人仁泉会 統括看護部長	令和3年3月29日
松本 進	北福島医療センター 副院長	令和4年6月28日

##### (3) 監事（2名）

氏名	職業・職歴など	就任日
芳賀 裕	ロアフォルジュ司法書士事務所 所長	平成30年10月12日
大出 隆秀	大出隆秀公認会計士・税理士事務所 所長	平成30年10月12日

##### (4) 会計監査人（1名）

氏名	職業・職歴など	就任日
OAG 監査法人	OAG 監査法人 代表社員 今井基喜	平成30年11月5日

## 5 職員の状況

### (1) 令和5年3月31日現在の在職状況（常勤換算）

職 種	人 数	職 種	人 数
医師	43	理学療法士	37.8
保健師	7.3	作業療法士	9.8
看護師	164.4	言語聴覚士	6
准看護師	26.2	リハビリ補助員	0.8
看護補助員	23.8	歯科衛生士	1
看護系 計	221.7	診療放射線技師	15
介護福祉士	80.2	医学物理士	1
介護士	11.5	薬剤師	9.1
介護系 計	91.7	薬剤補助員	1
事務員	61.1	臨床検査技師	10.4
クランク	15.8	臨床工学技士	2
施設・環境整備員	17.4	検査補助員	1
事務系 計	94.3	管理栄養士	7
		栄養士	2
		調理補助員	11.7
		視能訓練士	3
		社会福祉士	5
		相談指導員	1
		保育士	5
		医療技術系 計	129.6
		合 計	580.3

### (2) 入退職者の状況（実人数）

入職者 正規職員 23名 パート職員 17名 合計 40名

退職者 正規職員 43名 パート職員 23名 合計 66名

### (3) 令和4年度入職式の実施

期 日 令和4年4月1日

場 所 北福島医療センター 講義室

入職者 13名（薬剤師1名、看護師9名、理学療法士2名、管理栄養士1名）

(4) 令和5年度新規採用予定者入職前説明会の実施

期 日 令和5年3月7日  
場 所 北福島医療センター 講義室  
参加者 新規採用予定者 11名

(5) 職場環境の改善とメンタルヘルス不調を未然防止するための取組み(1次予防)

ストレスチェックの実施  
令和4年9月実施 回収率 95.4%

(6) 表彰等

①公衆衛生事業功労者 優良栄養士

令和4年10月27日 梁川病院 管理栄養士 角田真佐枝

②福島県看護功労者 看護団体活動功労者表彰

令和4年10月29日 北福島医療センター 看護師長 長澤恵

③福島県看護功労者 優良看護(永年)職員表彰

令和4年10月29日 北福島医療センター 看護師 佐々木喜代子

④秋の叙勲(11月3日発表) 瑞宝中綬章

令和4年12月23日 仁泉会理事・北福島医療センター 名誉院長 吉田浩

(7) 医療従事者(職員)育成のための支援活動

①奨学金の貸与

奨学生 3名(看護師)  
奨学金総額 1,800,000円

②新入職員オリエンテーション

令和4年4月1日、4日の2日間 13名参加





公益財団法人

仁泉会